

藤田医科大学

後期研修プログラム紹介

～救急総合内科で出来ること～

内科専門医編

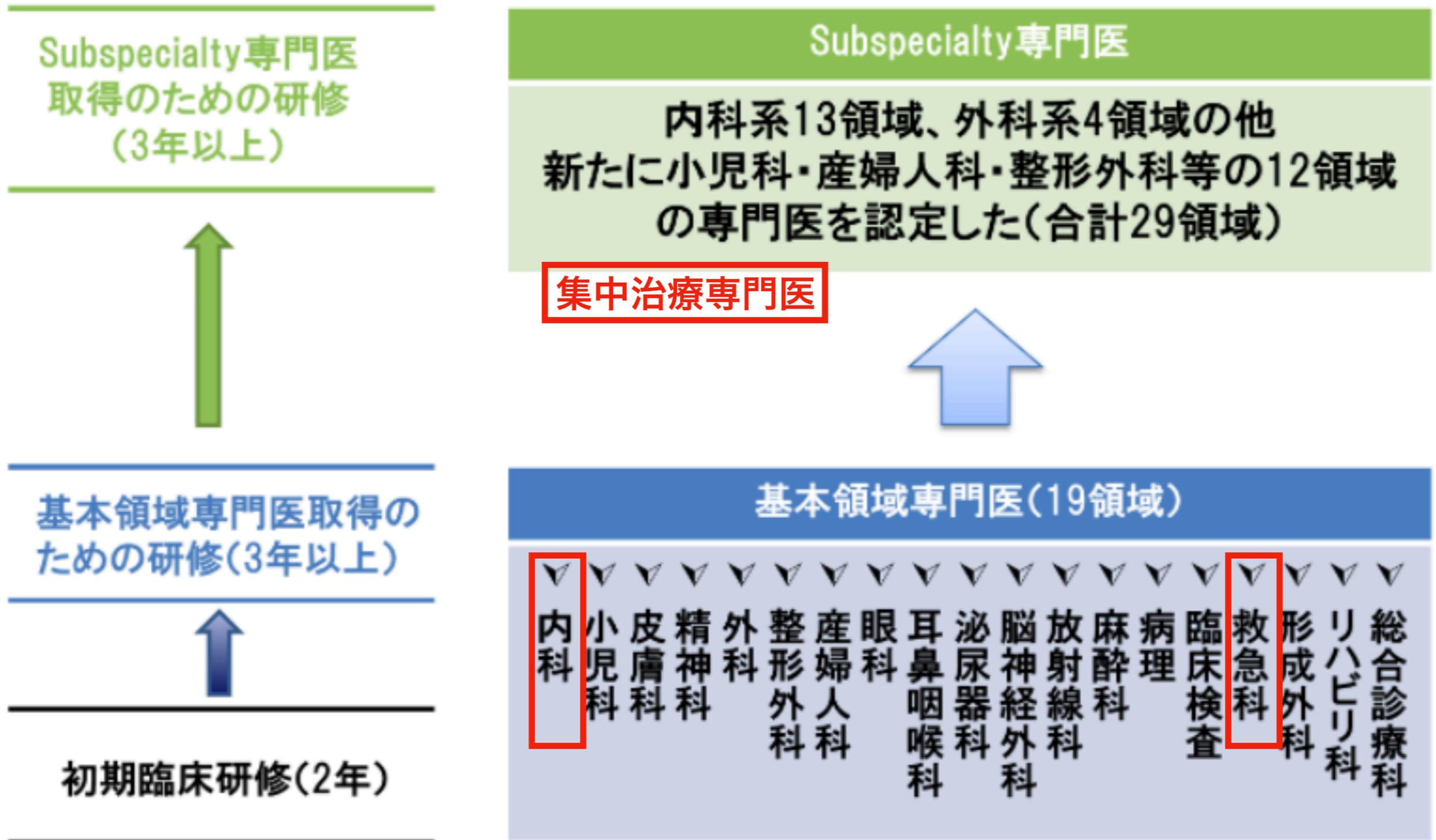
藤田医科大学 救急総合内科は

どんなセッティングでも
患者さんにベストな診療
を提供できる **generalist**

を育成し、日本の総合内科を牽引し続けること

を本気で目指しています。

当科で取得可能な専門医資格



内科専門医・救急科専門医・集中治療専門医の取得が可能

救急総合内科の専門医数

• 総合内科専門医 9人

• 救急科専門医 12人

• 集中治療専門医 5人

外科専門医 1名

循環器専門医 1名

血液内科専門医 1名

整形外科専門医 1名

老年病専門医 1名

家庭医療専門医 1名

様々なbackgroundを持った医師が当科に集まり自己研鑽を積んでいます



内科専門医

研修プログラム

内科プログラム(例)

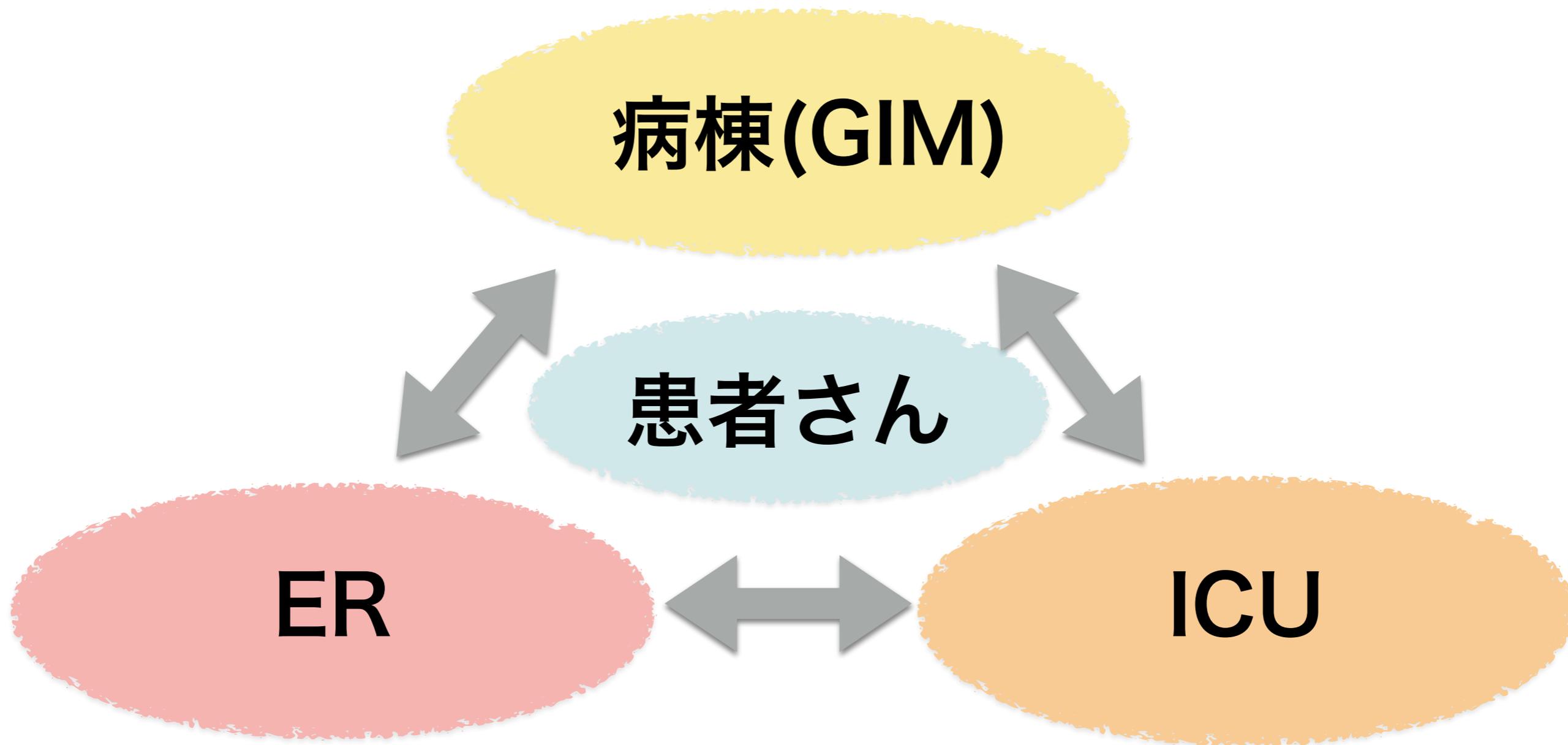
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1年目	救急総合内科(GIM・救命ICU・ER)											
2年目	連携・特別連携施設による研修											
3年目	他内科1	他内科2	他内科3	救急総合内科(GIM・救命ICU・ER)								

- **70疾患群200症例のほぼ全てが当科での勤務で履修可能**
- **最低半年の関連病院研修（選択可能＋今後希望に応じて拡充予定）**

(第2教育病院(板種病院)・西伊豆健育会病院・岡崎医療センター(2020年開院予定)・協立総合病院・〇〇病院・□□病院 etc…今後増える予定です)

救急総合内科の特徴

～最強のgeneralist育成～



GIMでの診断学や全身管理だけでなく、**ICU**での重症管理、**ER**での急性期対応も学び**幅広い診療能力**を育成する

救急総合内科の特徴

～最強のgeneralist育成～

市中病院

病棟(GIM)

診療所

地域

患者さん

僻地

どんなセッティングでもニーズにきちんと応え、
ベストパフォーマンスが発揮できる**便利な医師**

GIMでの診断学や全身管理だけでなく、**ICU**での重症管理、
ERでの急性期対応も学び**幅広い診療能力**を育成する

GIM (総合内科病棟)



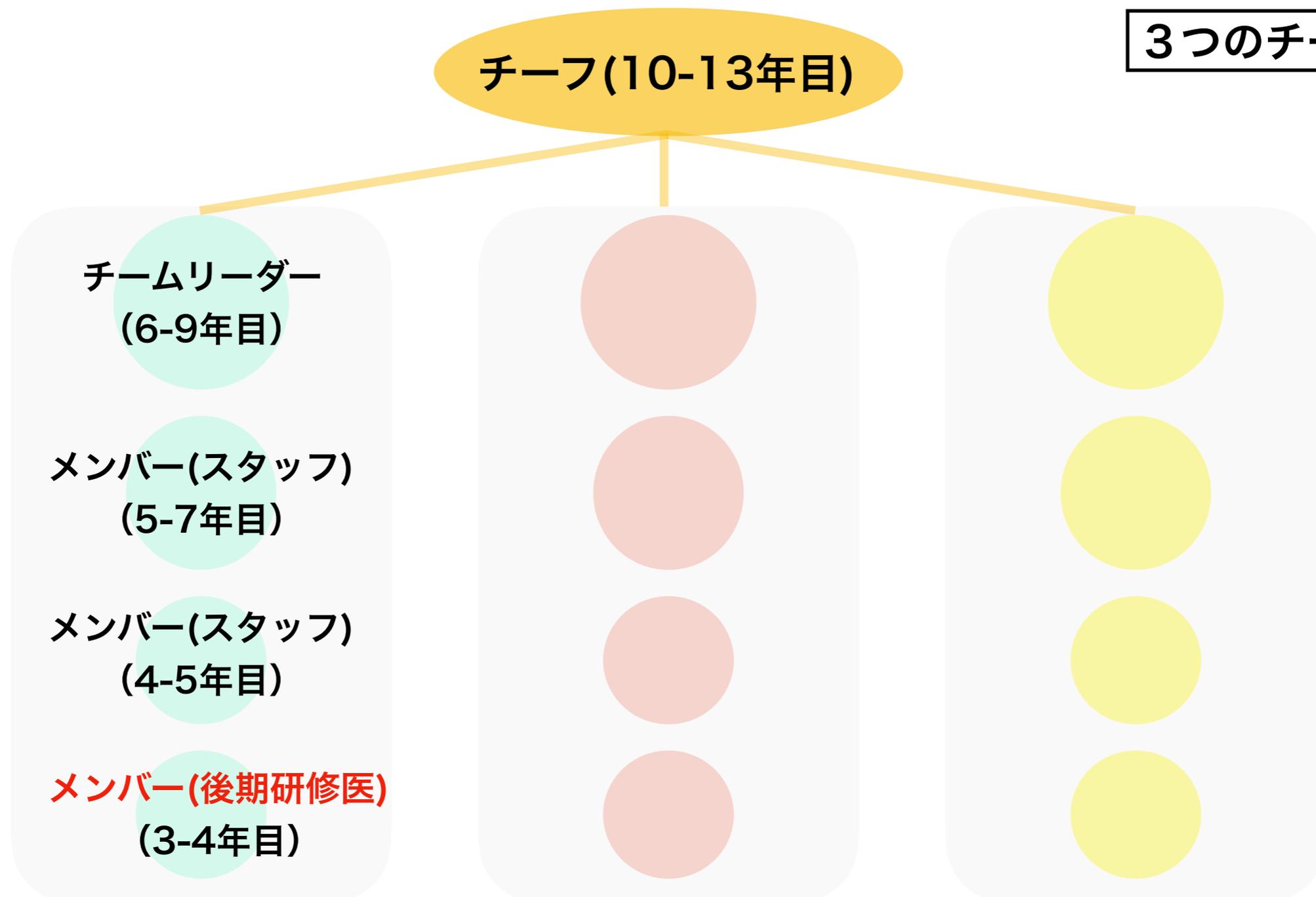
**複雑な病態や背景を把握し、目の前の患者さんに
起きている全てに向き合う**

General Internal Medicine

- 診断困難例から社会的困難例まで
- **大学病院らしさと市中病院らしさを兼ね備えた病棟**
- 誤嚥性肺炎、尿路感染症、感染性心内膜炎、Still病、HIV、PMR、悪性リンパ腫、家族性地中海熱、Sweet病、菊池病
- 誤嚥性肺炎から不明熱まで。他施設で**診断困難な紹介患者さん**から「**うちじゃない**」と言われた患者さん**全て**
- 専門家とディスカッションしながら**複数臓器をまたぐ全身管理**と**社会背景・家族背景を踏まえた個別ケア**

GIMの診療体制

3つのチームで構成



- 当科のGIM病棟は**チーム制**で患者さんを管理しています
- **後期研修医はチームの一員**として診療を行います

GIMの診療体制

～チーム制のメリット～

- 1チーム**15-20人**程度の患者を管理。
- **チーム全員で回診**,治療方針も**全員で相談**し決定→方針がmisleadされにくい
- **上級医の考え方や身体所見の取り方**を学ぶことができる
- 外勤や当直明けで**自分が不在でも患者マネジメント**を前に進めることができる→当直明けに安心して帰れる！

困難症例カンファ

- GIMチームの診断困難・複雑な症例を提示
- 植西教授(Dr.Gに出演)のファシリテートののもと、病歴・身体所見から病態を考え、診断への考え方を学ぶ



救命ICU



重症疾患の診断や全身管理ができる

内科医・救急医

Intensive Care Unit

- ER経由の重症例が入院 450-500人/年
- 内因性5割、中毒/外傷/熱傷4割、他1割
- 敗血症性ショック、AKI、肝不全、甲状腺クリーゼ、消化管穿孔術後、TMA、多発外傷、急性薬物中毒、全身熱傷
- 迅速かつ適切な診断・根治的治療・それをサポートする全身管理
- Bedside teaching : By systemアプローチに基づいた症例の評価・ベッドサイド教育回診による治療方針の決定
- 系統的なレクチャー

ER



**重症患者の初期対応能力はもちろん総合内科医としての
幅広い知識も試される場こそ救急！**

Emergency Room

- 一次救急から三次救急まで
- 救急搬送数 9600台/年
- 外来受診数 25000人/年
- **内科に強い救急医 & 救急に強い内科医が活躍**
- ただの振り分けではない、迅速な診断とエビデンスに基づいた初期治療

各種勉強会

1. 植西教授によるコアレクチャー

2. ブラッシュアップ勉強会

3. MKSAP 勉強会

4. 論文の読み方

5. 後期研修医のための勉強会

各種勉強会

1. 植西教授によるコアレクチャー

- 循環・呼吸・内分泌・腎電解質など生理学を中心に基本から応用まで
- 「ショック」「低ナトリウム血症」「副腎不全」「AKI」
- 音声つき動画が医局員限定配信！

2. ブラッシュアップ勉強会

3. 論文の読み方

4. MKSAP 勉強会

5. 後期研修医のための勉強会



各種勉強会

1. 植西教授によるコアレクチャー

2. ブラッシュアップ勉強会

- 後期研修医向けのややアドバンスな内容
- 当科の中堅スタッフが提供
- 「重症内科症例」 「抗菌薬」
「輸液」 「敗血症」

3. MKSAP 勉強会

4. 論文の読み方

5. 後期研修医のための勉強会



各種勉強会

1. 植西教授によるコアレクチャー

2. ブラッシュアップ勉強会

3. MKSAP 勉強会

- 持ち回りで一人一問
- 毎週数問ずつ担当者が提示
- 内科の知識update

ACP | MKSAP[®] 18



4. 論文の読み方

5. 後期研修医のための勉強会

各種勉強会

1. 植西教授によるコアレクチャー

2. ブラッシュアップ勉強会

3. MKSAP 勉強会

4. 論文の読み方

- 当科大学院生を中心に開催
- 当科寺澤教授（研究のspecialist）の指導のもと文献をどのように読むかを系統的に学習
- 「RCT」「SR」「コホート研究」「症例対照研究」 etc

5. 後期研修医のための勉強会

各種勉強会

1. 植西教授によるコアレクチャー

2. ブラッシュアップ勉強会

3. MKSAP 勉強会

4. 論文の読み方

5. 後期研修医のための勉強会

- 症例検討カンファレンスの司会ができるようになる
- 指導医、後期研修医に対して症例検討会をファシリテート
- 引き出しを多く作り出された症例に対するアプローチの幅が広がる

待遇

- 基本給＋週1日の外勤給与＋当直手当＋諸手当
- 賞与年2回
- 当直：月5-6回のER当直(当直明けは全員が午前中には帰宅しています)
- **学会年会費3学会＋1回の学会参加＋主要講習会参加費※**
を医局費でカバー（発表者には何度でも費用が出ます）

一般的な勤務医並み。「前の病院と変わらないか、むしろ上がった」と言う医局員が多いです。（詳しく知りたい方はお問い合わせください）

※BLS講習/ACLS講習/FCCS/MCCRCなど

ワークライフバランス

- 男性医師の育休取得率 > **70%**
- 1ヶ月 6日 以上（半日休含む）のoff
- **夏休み 5日間** 全員取得
- ママさんDrもERとGIMで大活躍、多様な働き方※OK

**「家族や大切な人を大事にできない医者
は患者を大事にできない」**

※時短勤務(月30時間)、週4.5日勤務、週5.5日勤務など、個々の事情により相談して決定

修了後の進路

- 科に残ってスタッフとして**hospitalist**を続ける
- 別の病院で**内科医**として勤務
- さらなる**speciality**を求めて別の診療科へ
- 地元に戻って**地域医療**を支える
- 開業医の親を継ぐべく**診療所**へ or 開業！

どこでもOK！

医局の縛りはありません(本当です)

ER

クリニカ
160の箴言集

岩田充永

救急で最低限やるべきこと
さらりと読めて
経験に裏打ち
珠玉の厳選

デントノート

11
2016
Vol.18 No.12

の基本となる
E身評価
迷いなく評価し、



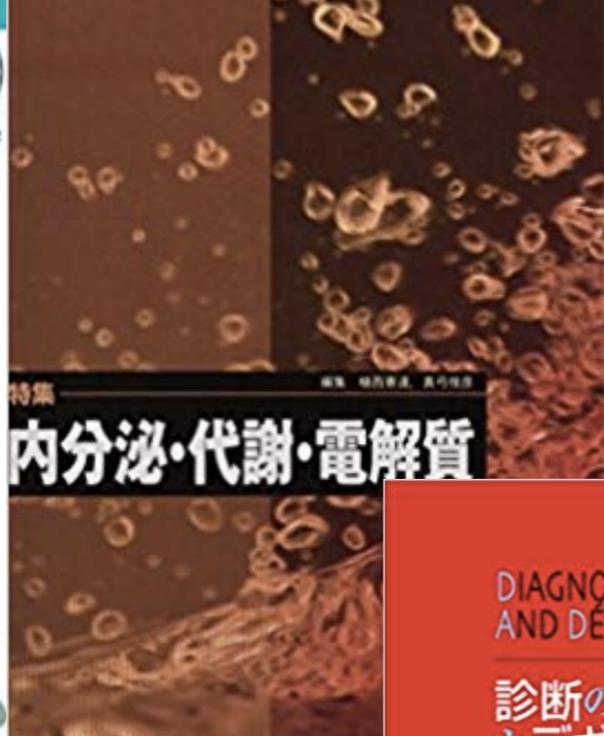
改訂
医学部では
教えない
救外の知恵

岩田充永 (編)
名古屋救済会病院救急科 (著)

ERの哲人

第2

INTENSIV

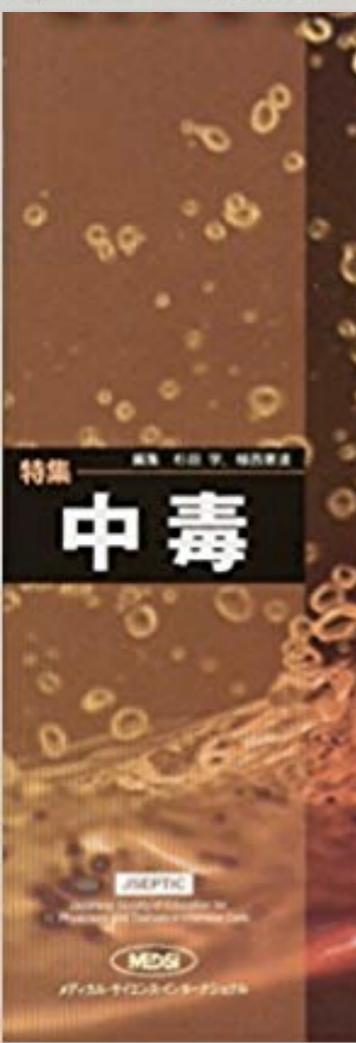


特集
内分泌・代謝・電解質

集中治療, 田中竜馬 編

ここだけの話

執筆もできます (強制はしません)
もちろん指導医のサポートあり



救急 外来での キケンな 一言

トラブル事例に学ぶ
診療のピットフォールと

岩田充永 著
名古屋救済会病院救急科

羊土社
YODOSHA

UCSFに学ぶ できる内科医への 近道

改訂4版

〔編集〕
山中克郎
澤田覚志
植西憲達

急変予防& 対応ガイドマップ

高齢者 救急

アセスメントの

クリティカル・ ケアを極める

一歩進んだ
総合内科医を目指して

〔全編〕岩田 充永
編訳先: 重症内科症例に対応できるためには

岩田 充永 著
『重症内科』の著者による
『重症内科』の著者による
『重症内科』の著者による

DIAGNOSIS WITH GESTALT AND DÉGUSTATION

診断のゲシュタルト レニゲ・フタシマ

ト50人の
「している」
あるトピック」を、関連する
ながら丁寧かつ骨太に解説。
治療の世界へようこそ。

dicina 9

2018



←当科ホームページ



当科facebook→



「いいね」「シェア」「フォロー」
お願いします！

藤田医科大学 救急総合内科
@generalinternal.criticalcare.emergency.medicine

- ホーム
- サービス
- レビュー
- ショップ
- クーポン
- 写真
- 動画
- 投稿
- イベント
- ページ情報
- コミュニティ
- 求人
- 情報と広告

「いいね！」済み ▼ フォロー中 ▼ シェア ... お問い合わせ

投稿を作成 | ライブ | イベント | クーポン | 仕事

投稿を作成...

写真・動画 | 問い合わせを... | 気分・アクテ...

近隣の人にリーチ
位置情報を設定して近隣の顧客にリーチしましょう

ページへの「いいね！」を増やす
ページを見つけやすくして多くの「いいね！」を獲得しましょう

4.0 (最高5) · 1人のレビューに基づいたスコア

ストーリー
+ ビジネスの内容を紹介しよう

当科の日常的な活動を紹介しています



Passion for your
dream

藤田医科大学病院
臨床研修センター

FUJITA HEALTH UNIVERSITY HOSPITAL
POSTGRADUATE CLINICAL TRAINING CENTER



センターからのお知らせ

2019年5月24日

【初期研修】臨床研修医募集説明会開催のお知らせ（2019年6月8日（土））



藤田医科大学病院
臨床研修センター

当院の後期研修プログラム全般についての情報はこちら



見学お待ちしております！



お問い合わせは当科ホームページまたはfujita-kyunai@gmail.comまで